

# 会 報 <<第417号>>

次代を築くヒューマン・ネットワーク  
一般社団法人兵庫県建築会



令和2年7月1日

## <<目 次>>

- |              |   |            |
|--------------|---|------------|
| 1 就任ご挨拶      | (一社)兵庫県建築会 会長 山本 康一郎  | ・・・2頁      |
| 2 退任ご挨拶      | (一社)兵庫県建築会 前会長 瀬戸本 淳  | ・・・3頁      |
| 3 令和2年度定時総会  |   | ・・・4頁      |
| 4 令和2年度 役員名簿 |   | ・・・7頁      |
| 5 特別寄稿       | 都心・三宮周辺エリアにおける再整備状況について<br>～新たな中・長距離バスターミナルと本庁舎2号館の再整備～<br>神戸市都心再整備本部都心三宮再整備課 | ・・・8頁～9頁   |
| 6 会員寄稿       | 『古 民 家 再 生 宿』<br>宮崎建設(株) 代表取締役社長<br>宮崎 健一 氏 (当会理事)                            | ・・・10頁～11頁 |
| 7 お知らせ       | 研修交流会、行事予定、事務局だより<br>広報コーナー(住宅再建共済制度)   | ・・・12頁～13頁 |

《今月の花だより》



(ベゴニア・フローレンス)



(コリンアンテス ランの一種)

～兵庫県フラワーセンター 20/6/12 撮影～



## 就 任 ご 挨拶

一般社団法人 兵庫県建築会

会 長 山本 康一郎

今年新型コロナウイルス感染症拡大に始まりました。4月には感染拡大が急速に進み医療崩壊も懸念されましたが、緊急事態宣言解除も経て、ようやく落ち着きを取り戻しました。この間、会員の皆様は、ご心配やご苦勞をなされたことと存じます。この感染症で日本はじめ世界中で多くの尊い命が失われました。まづもって、亡くなられた方のご冥福をお祈りいたします。そして、「新たな生活様式」が始まり、少しでも日常生活が良い方向に向かうことを心から願っております。

さて、この度の役員改選に伴い、70年を超える歴史と伝統ある建築会第10代会長を仰せつかりました山本康一郎でございます。また、役員改選にあたり新役員人事をご承認頂き厚くお礼申し上げますとともに微力ではございますが、建築会発展に全力を尽くす決意でございます。

私は、建築会会長の重責に相応しいか瀬戸本先生とは大違いで、大変役不足であります。今まで建築会が培ってきた非常にユニークな良き伝統を継承し、発展させていくには、浅学菲才な私には大変悩ましく大きな課題と思っております。しかし、お引き受けした以上は、正会員の皆様と特別会員として所属する役所の皆様のご協力とご理解を仰ぎながら、当会の特徴であるヒューマンネットワークが最大限に発揮できるような例会を中心に事業を進めてまいりたいと思っております。また、コロナ禍のこの3か月で見えた課題は何か、感染第2波にどう備えるのかについても、地域に密着した産官学が集う建築会ならではのタイムリーな情報発信が出来ればと思っております。

最後になりましたが、8年間にわたり建築会のリーダーとして、我々を導いて頂いた瀬戸本先生は会長を退任されましたが、名誉顧問として、今まで以上にご指導頂きたいと願っております。そして、健康にご留意され、ますますのご活躍を祈念申し上げます。

結びといたしましては、会員並びに関係者の皆様には、引き続きのご指導ご鞭撻をお願い申し上げますと共に、退任されました役員の皆様への心からの感謝の意を申し添え、会長就任の挨拶とさせていただきます。



## 退任ご挨拶

一般社団法人 兵庫県建築会

前会長 瀬戸本 淳

北浪邦夫前会長から引き継がせていただいて8年間、会長という立場と貴重な機会を与えて下さった皆様に深く感謝いたしております。長い間お世話になり、ほんとうにありがとうございました。

この時期、皆様のお仕事もコロナとの長期戦で大変ご苦労されていることと存じます。心よりお見舞い申し上げます。

今は禁止されていますが、私は皆様との濃厚接触が大きな喜びでした。皆様とお会いして、それぞれが楽しいことを言って喜び、楽しむ本来の会（集まり）の源がそこにあるように思っていました。そういう喜びを今は控えなければならないのが、とても残念です。一方では私たちは今、濃厚接触をせざるを得ない人々のおかげで生活ができています。病院や保健所で従事されている方々、介護・保育の仕事をしている方々、スーパーなどのレジ係、入店係、清掃業務についている皆さん、路線バスの運転手さん、宅配の方々、テレワークでは仕事にならない最前線の現場で働いている方々です。ほんとうに頭が下がります。

さらにもう一方では休業や外出禁止の要請によって、仕事を無くし、収入が絶たれ、生きる危機に面している人も増えています。また病に侵されているのに、厚い手当を受けられない人々もいます。私たちは人々の声にならない悲鳴に耳を傾け、案じ、どう守るかの考えを、知恵を絞らなければなりません。さらにまた、いつ来るかわからない自然災害にも備える必要があります。まだ見ない次の世界は、価値観や常識が変わるのかもしれませんが、私たちは地球の環境を守りながら、何とかして人々のために、豊かな街、幸せな街を創っていかねばなりません。

幸いに、兵庫県建築会にはすばらしい人材が揃っています。また、次期からの山本康一郎新会長が未来に向けて良い方向づけをして下さると思います。

会の新たな出発に喜びを感じ、益々の発展と皆様のご多幸を心よりお祈りいたしております。ほんとうにありがとうございました。

追記：最後になりましたが、私が何とかやれることができましたのも事務局の谷純夫専務の、たゆまぬご努力のおかげです。心より感謝いたしております。

## 令和2年度 定時総会 開催報告

日 時 令和2年6月18日(水) 14時～15時

会 場 兵庫県建設会館 会員ホール



令和2年度定時総会が31名の出席により開催されました。その概要を次の通り報告します。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、日程、開催場所等が変更になったことをお詫びします。

### 1 開会 定足数の確認

正会員数	55名 (定足数28名)
総会出席者	31名
	議決権を有する者31名
委任状提出者	23名
議決権	54名



(記事中の挨拶については要旨です)

### 2 開会あいさつ 会長 瀬戸本 淳

本日はお忙しい中、定時総会にご出席いただきありがとうございます。円滑な議事運営に協力をお願いします。



### 3 議事事項

◎ 定時総会においては、令和2年度事業計画等3件の報告事項について承認を得るとともに、令和元年度決算(案)及び令和2年度役員選任(案)について議決をいただいた。

報告事項1	令和2年度事業計画について
報告事項2	令和2年度収支予算について
報告事項3	令和元年度事業報告について
第1号議案	令和元年度決算(案)について
第2号議案	令和2年度役員選任(案)について



### 4 理事の退任・就任

(退任される役員)

会 長	瀬戸本 淳 氏 (名誉顧問に就任)
顧 問	三木 太志 氏
顧 問	川嶋 実 氏
専務理事	谷 純夫 氏 (参与に就任)
理 事	和田 好勝 氏
幹 事	勝野 聡一郎 氏

(就任される役員)

副 会 長	川端 宏幸	氏
顧 問	根岸 芳之	氏
顧 問	松田 隆	氏
専務理事	吉本 義幸	氏
理 事	松本 章	氏
幹 事	田元 保雄	氏
幹 事	長坂 浩	氏
幹 事	杉田 健一	氏
幹 事	安田 宏	氏

◎ なお、令和2年度役員の名簿は7ページに掲載しています。

## 5 新旧会長挨拶



大木副会長から感謝の気持ちを込めて花束が贈呈されました。(建通新聞社 提供)

◎瀬戸本 前会長 退任挨拶



北浪前会長から会長職を引き継ぎ8年間勤めてまいりました。これも会員の皆様のご協力があったことであり、ありがとうございました。

このたびのコロナとの戦いで皆様は本当にご苦労されていることと思います。

このなかで私たちは多くの人たちのやさしさを感じ、その人たちに支えられていることを深く感じました。

そしてこのことから、みんなで支えあう社会が見えてきたのではないのでしょうか。

これからは一会員として会に協力してまいりますので、よろしくお願いいたします。

兵庫県建築会が山本康一郎新会長を中心として、次の世界に向けて新たな出発をされることを期待しております。

◎山本 会長 就任挨拶



今総会をもって70年を超える歴史と伝統のある兵庫県建築会の会長を仰せつかりました山本でございます。

役員人事をご承認いただいた会員の皆様にお礼を申し上げ、今後の会の運営につきましてご協力をいただきますようお願いいたします。

会長職を8年間お勤めになられました瀬戸本様並びに今回退任される皆様のこれまでのご尽力に深く感謝申し上げます。

私は役不足ではありますが、兵庫県建築会をどのように発展させていくかを考え、例会を中心とした特徴あるヒューマンネットワークを最大限活かしてまいりたいと考えております。

コロナウイルス感染症の課題、そして感染第2波に備えるということからも、本会としての情報発信をしてまいりたいとも思っております。

今後の兵庫県建築会の事業推進、運営に会員の皆様のご協力、ご鞭撻をお願いしまして挨拶とさせていただきます。



新旧会長が固い握手をされ、定時総会は終了しました。

祝

辞

兵庫県知事 井戸敏三様、神戸市長 久元喜造様から御祝辞をいただきました。

一般社団法人兵庫県建築会 令和2年度定時総会の開催をお慶び申し上げます

建築各界を結びまちづくり分野で常に先導的な役割をはたしてこられた皆様に深く敬意を表します

新型コロナウイルス感染症との戦いは感染リスクを可能な限り抑えつつ社会経済活動の再開と回復を図っていく新たなフェーズに入りました 阪神・淡路大震災から創造的復興を成し遂げてきた本県だからこそこの新しいポストコロナ社会の創造に果敢に挑戦していきましょう



兵庫県知事 井戸敏三

一般社団法人兵庫県建築会 令和2年度定時総会のご開催をお慶び申し上げます

平素は神戸市政に対しましてご理解ご協力を賜り誠にありがとうございます

また このたびの新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため様々なご協力を賜り 厚くお礼申し上げます

これまでの貴会の取り組みに深く敬意を表しますとともにますますのご隆盛と会員皆様のご健勝ご多幸を心よりお祈り申し上げます



神戸市長 久元喜造

令和2年度定時総会におきまして新役員体制が承認されました。  
つきましては、この新しい陣容をもちまして、会の進展に最善の努力をしまいる所存です。  
なにとぞ倍旧のご支援ご厚誼を賜りますようお願い申し上げます。

令和2年7月吉日

一般社団法人 兵庫県建築会 会長 山本 康一郎

令和2年度役員等一覧表

(事業推進委員会は会長以下の役員をもって構成する)

(敬称略)

区分	氏名	所属
名誉顧問	竹 村 章	元(一社)兵庫県建築会 (会長)
※	瀬 戸 本 淳	前(一社)兵庫県建築会 会長
顧問	出 野 上 聡	兵庫県県土整備部 まちづくり部長
※	根 岸 芳 之	神戸市建築住宅局 局長
	竹 本 明 正	(公財)兵庫県住宅建築総合センター 理事長
※	松 田 隆	(一社)兵庫県建設業協会 会長
	宮 宅 勇 二	(公社)兵庫県建築士会 会長
	柏 本 保	(一社)兵庫県建築士事務所協会 会長
	山 本 亮 三	(公財)兵庫県芸術文化協会 理事長
	棚 田 肇	元(一社)兵庫県建築会 副会長
	石 田 邦 夫	元(一社)兵庫県建築会 副会長
会長◎	山 本 康 一 郎	(株)山本設計 代表取締役社長
副会長◎	大 木 弘 恵	(株)大木工務店 代表取締役社長
	福 本 豊	兵庫県住宅供給公社 理事長
※	川 端 宏 幸	神鋼不動産(株) 常任顧問(元当会副会長)
専務理事兼事務局長	※ 吉 本 義 幸	(一社)兵庫県建築会 事務局長
理事	岡 澄 彦	(株)岡工務店 取締役副社長
※	松 本 章	(株)明和工務店 代表取締役社長
	北 浪 孝 一	丸正建設(株) 代表取締役社長
	矢 間 照 人	(株)新井組 神戸支店 支店長
	河 野 潤 也	兵庫新装サッシ(株) 顧問
	浜 田 洋 光	(株)黒田建築設計事務所 代表取締役専務
	宮 崎 健 一	宮崎建設(株) 代表取締役社長
監事	山 田 聖 一	(一社)兵庫県建設業協会 専務理事
	立 花 充	(株)ノバック 代表取締役社長
参 与	渡 邊 勝 幸	元(一社)兵庫県建築会 副会長
	木 村 光 利	元(一社)兵庫県建築会 顧問
※	谷 純 夫	前(一社)兵庫県建築会 専務理事
幹 事	※ 田 元 保 雄	(一社)兵庫県産業資源循環協会 専務理事兼事務局長
	瀬 尾 武 夫	(株)宮本設計 代表取締役所長
	前 川 真 一 郎	前川建設(株) 専務取締役
	池 内 修	(株)池内工務店 代表取締役
	谷 口 正 樹	(株)家根源 代表取締役
	吉 川 壽 一	(株)吉川組 代表取締役社長
	坂 井 豊	(株)柄谷工務店 常任顧問
	荒 木 隆 一	(株)ノーリツ 兵庫支店 支店長
※	長 坂 浩	(株)オフィスナウ 代表取締役
※	杉 田 健 一	(株)森長組 関西支店 取締役支店長
※	安 田 宏	双和化学産業(株) 代表取締役

区分欄の◎は代表理事、※は新任を示す。

## 都心・三宮周辺エリアにおける再整備の状況について

～新たな中・長距離バスターミナルと本庁舎2号館の再整備～

神戸市都心再整備本部都心三宮再整備課

### 1. 新たな中・長距離バスターミナルの整備

三宮駅周辺は1日約1,700便（2019年4月時点）もの中・長距離バスが発着し、県内外の主要都市と結んでいます。乗降場が三宮駅周辺に分散し、分かりにくいなど、交通利便性の課題を抱えています。そこで神戸市は、2018年3月に新たな中・長距離バスターミナルの整備に向けた基本計画を策定し、これらの乗降場をミント神戸1階の既存バスターミナルに隣接する雲井通5・6丁目地区に集約するとともに、ホールや図書館、オフィスやホテルなどの賑わいを生み出す施設を整備することで、神戸の新たな玄関口を創出することとして位置づけました。

#### ○雲井通5丁目地区第一種市街地再開発事業

新たなバスターミナルのI期エリアである雲井通5丁目地区においては、2018年5月に市街地再開発事業の施行主体となる雲井通5丁目再開発㈱が地元地権者により設立され、同年9月に事業協力者グループ（三菱地所㈱等）が公募により選定されました。2019年9月には、再開発会社から神戸市に対して都市再生特別措置法に基づく都市計画提案が提出され、2020年3月に「都市再生特別地区」及び「神戸三宮雲井通5丁目地区第一種市街地再開発事業」の都市計画決定を行いました。

都市計画では容積率の最高限度1,050%、延床面積約100,000㎡、最高高さ165m、都市計画提案の際に提示された施設の概要では、低層部にバスターミナルや商業施設、ホールや図書館などの公益施設、タワー部分にはオフィス・ホテルといった多様な機能が導入された複合再開発ビルとなっています。（図1参照）

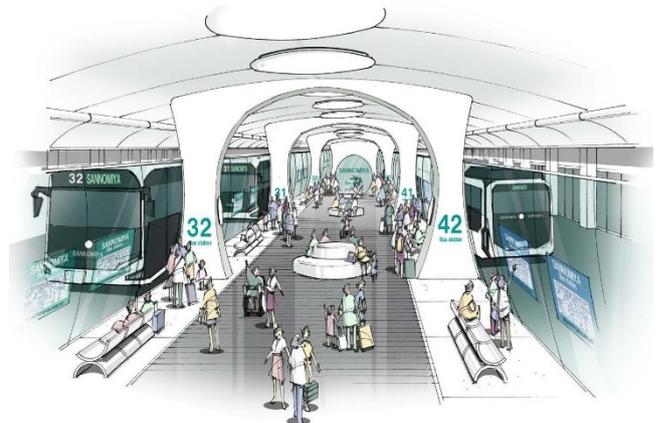
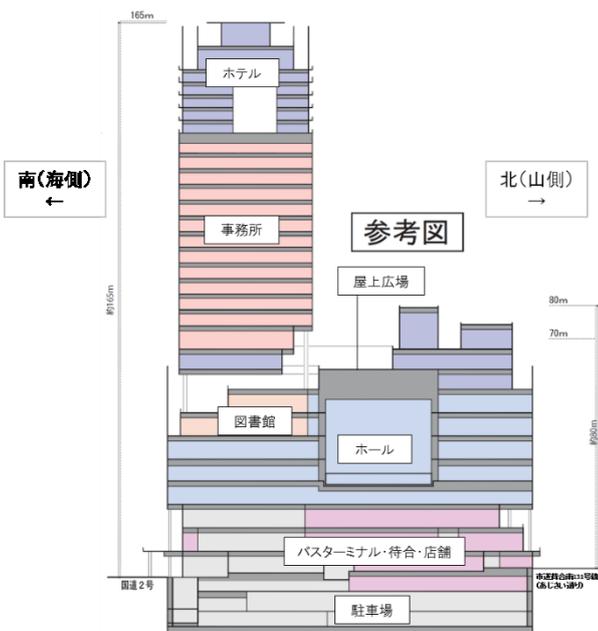
引き続き再開発会社を中心に、地権者の方々やバス事業者の意向等も踏まえながら、2020年度内の施行認可を目指して、地権者をはじめとする関係者との協議を行っていきます。

#### ○国道2号等 神戸三宮駅前空間の事業計画の策定

新たなバスターミナルの整備に向けては、接続する国道2号の再編や三宮クロススクエアの整備に向けたデッキの整備など、未来型駅前空間の実現について、学識経験者等を含めた検討会を重ね、2020年3月に国土交通省と神戸市が共同で「国道2号等 神戸三宮駅前空間の事業計画」を策定しました。

事業計画の中では、新たなバスターミナルのI期と周辺国道2号道路空間再編を国の直轄事業にて整備することとし、バスターミナルや待合空間を災害時における一時滞在施設や鉄道の代替輸送機能等の防災拠点としての活用や、人の賑わいと回遊性を創出するデッキの整備など、神戸三宮駅前空間の将来の姿が示されています。

この再開発事業と道路事業が融合した前例のない新たな取り組みの実現に向け、国と市、民間事業者等と連携して協議を進めていきます。



<図2 新たな中・長距離バスターミナル乗降空間のイメージ>

※あくまで計画イメージであり、今後の検討により変更の可能性があります。

## 2. 本庁舎2号館の再整備について

建築から62年を迎える本庁舎2号館は、老朽化の進行や阪神・淡路大震災の被害を受けていることなどから、建替えに向けた検討を進めています。

2020年3月には、建替後の施設に導入する機能や配置計画等をまとめた「神戸市役所本庁舎2号館再整備基本計画」を策定しました。今後、再整備事業者の選定・設計・工事を経て、2025年度以降に完成する予定です。

### ○整備方針

三宮駅周辺からウォーターフロント、旧居留地エリア等における回遊性を向上させるため、本庁舎としての必要な機能を確保しながら、市民や来街者に向けて、神戸らしい魅力的な文化や都市景観等を発信するとともに、周辺のまちづくりの活性化をけん引する、シンボリックな空間の整備を図ります。

また再整備にあたっては、民間事業者の技術やノウハウを活かした官民連携事業として進めていく予定です。

#### 【整備コンセプト】

- ① 効率化・高度化に対応する新たな庁舎機能の整備
- ② 神戸らしい魅力的な機能の導入による集客・にぎわいの創出
- ③ 周辺エリアと連携した景観形成等の推進
- ④ 環境・防災への配慮



<図3 回遊性創出のイメージ>

### ○施設の配置計画

本庁舎2号館跡に新たに建設する施設(以下「新庁舎・にぎわい施設」と、本庁舎1号館にエネルギー供給を行う新たな施設(以下「連絡ロビー・エネルギー施設」)を図4のように配置する予定です。



<図4 施設配置図>

#### ①機能的・効率的な庁舎機能

時代の変化に柔軟に対応する間仕切りのないオープンフロアの導入や、誰にとってもわかりやすく移動しやすい動線を確保します。

#### ②文化創造・発信機能

クラシック音楽の生音の響きを活かせる特長ある中規模の音楽ホールや、神戸の文化・地域情報の紹介、ICT等の技術を活用した新たな情報発信機能を導入します。

#### ③にぎわい機能

神戸の玄関口として新たな交流人口を創出するにぎわい・集客機能や、来訪者、周辺住民など様々な人が気持ちよく利用できる高質なにぎわい・商業機能を導入します。

#### ④連絡ロビー・エネルギー施設

本庁舎1号館へ安定的に電気、熱エネルギーを供給するため、BCPに基づいた高い安全性、信頼性、持続性を兼ね備えた施設を整備します。



▲庁舎機能のイメージ

▲にぎわい・集客機能のイメージ  
(例：ハイクラスホテル)

<図5 導入機能のイメージ>

## 3. 今後の取り組みについて

三宮駅周辺では JR 駅ビル解体工事や阪急神戸三宮駅ビルの建設など、目に見えた変化が始まっています。三宮クロススクエアについても、2019年度に実施した交通社会実験の結果を踏まえ、具体的な検討を進めています。

市民の安全・安心を確保しながら神戸のまちの魅力をさらに高めていけるよう、様々なご意見をお聞きしながら着実に進めてまいります。

会員寄稿  
『古民家再生宿』  
宮崎建設(株)代表取締役社長  
宮崎 健一氏(当会理事)

すべて一新した方が、「安くて早い」と、経済的な考えで判断され、取り壊される建物も多くあります。古き良きものを継承していくことは、時代の流れに逆らうこともあり、困難でもあります。

さて、今回は、地方創生をコンセプトで再生した古民家宿への旅(2019年7月)をご案内します。

宿の場所は、妻籠宿や柿其溪谷など地域の魅力が詰まった長野県南木曽です。



妻籠宿

柿其溪谷



古民家宿「Zenagi」

妻籠宿には、小さな宿がたくさんありますが、連泊できるような落ち着いた宿がありません。地元を少しでも元気にしたいというオーナーたちの想いで、築数百年の建物を譲り受け、改装し、アクティビティ体験のできる宿がオープンしました。

知り合いに紹介を受け、母親、兄弟、子供の総勢9名で泊まりに行きました。

地元には昔からある建物で、地元の食材を使ったシビエ料理を堪能し、地元の自然を感じるアクティビティを体験する宿になっておりました。

アプローチから玄関へ入ると土間と待合、ダイ

ニングとキッチンがあり、大きな梁が印象的な吹き抜けからは、2階の客室が見渡せました。待合からは枯山水庭園が望め、心地よい空間でした。

木製サッシの上下の框が見えないようになっており、閉まっているのか、開いているのかわからない綺麗なおさまりになっていました。



アプローチ

玄関



1階土間、リビング

待合

地元の材料を利用し、ピエール・ジャンヌレのデザインを模倣した椅子など工夫ある家具も素敵でした。また、壁面には、銅で色付けした和紙を貼ることで落ち着いた雰囲気を作り出していました。メンテナンスが気になるところですが・・・。



地元材料の家具

ピエール・ジャンヌレの椅子

客室はメゾネットタイプ3室で、1階に地元の材料で制作した檜風呂、洗面・トイレ、2階が屋根裏部屋で、寝室とリビングとなっていました。フランスベッドの力も借り、夜はカエルの鳴き声と私のいびきの合唱となったようです。梁に頭をぶつけたこと以外は問題なく、ゆったりとした時間の流れを感じる事が出来ました。テレビがないことや蛍光灯がないことも影響がありました。建物に入っただけは薄暗いと感じていたので

が、だんだんと目が慣れ、落ち着いた雰囲気染まってきました。



檜風呂



客室 屋根裏部屋

吹き抜け

食事は地元の野菜や魚、牛だけでなく、熊や鹿、なまずまで余すことなく美味しくいただきました。地ビールやワインもたくさんあり、食器も古民家の蔵から出てきたものや屋根のへぎ板を着色したお皿で食事を演出していました。



川魚と野菜の前菜

熊料理



なまず料理

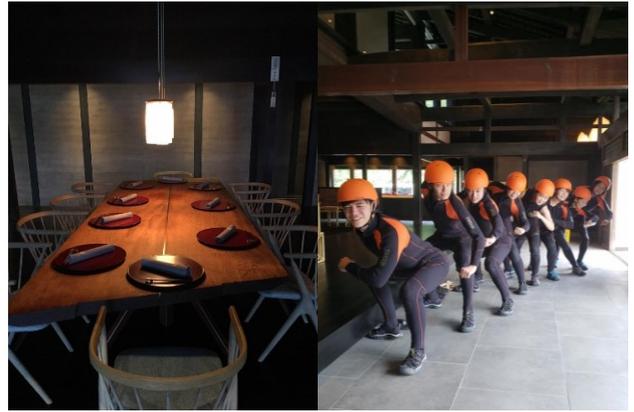
デザート

翌朝は、周辺を散歩し、朝御飯をしっかりといただき、アクティビティの川下りの準備です。着替えると、ショートトラックの選手のように見えたので、はいポーズと記念写真を。息子・弟・義弟・妹・妹・妹・娘・母の順です。



朝御飯

だし巻き



古材利用のテーブル

はいポーズ！

車で10分程度の移動で木曾川へ。インストラクター2名に注意事項等を受け、しばらく数種類あるボートの乗り比べを行い、慣れたところで、3組に分かれ、川下りの開始です。男子チーム、お転婆女子チーム、女子チームとなりました。ちなみに私は見学で写真撮影へ。母(70歳)は、年甲斐もなく、張り切って参加しました。



ボート

注意事項説明



3チーム編成へ

泡立つ水面

30分程度の川下りですが、自然豊かな景色や、少し泡立つ水面走行もあり、女子チームは満足したようです。男子チームは物足りず、もっと激流を下りたかったようです。

宿へ戻り、シャワーを浴びて、地元食材満載の昼御飯をいただき、帰途へ着きました。

旅を通して感じたことは、普段何気なく過ごしていることが、実は様々なものに影響を受けているということでした。また、何気なく過ごしすぎて見落としている、あるいは気づかない感覚を知らずに定着させているようにも感じました。旅という非日常が日常の自分を振り返る時間を与えてくれたのかもしれませんが、そのように感じながら、日常を変わず過ごしていますので、情けない限りです。今年も兄弟連れだって、富山の古民家へ行きたいのですが。さて、どうなるのでしょうか。

## V お知らせ

### ◎ 研修交流会

日時：令和2年6月25日（木）

場所：城山ゴルフ倶楽部

成績（ダブルパリア方式、敬称略）

優勝	山本 康一郎	
2位	平井 保夫	
3位	宮崎 健一	
当月賞	窪田 彰	
ドラコン	山内 信幸	松本 章
ニアピン	窪田 彰	河野 潤也

雨が降ったり止んだりでしたが、前日の厳しい暑さに比べて気温は余り上がりず、第160回研修交流会が15名の皆さんのご参加をいただき無事開催することができました。

新型コロナウイルス感染症の拡大のために、ゴルフプレイもままならない日が続いていたためか、皆さん和気あいあいの会話のなかで、スイングに力が入り過ぎたことも多かったのではないのでしょうか。



### ◎行事予定

#### 1 事業推進委員会

日時：令和2年7月15日（水）  
18:00～20:00  
場所：アール・ヴァレンティノ

#### 2 特別講演会

日時：令和2年8月6日（木）  
16:00～17:00  
場所：東急REIホテル  
演題：21世紀兵庫長期ビジョンについて  
（仮題）  
講師：兵庫県副知事 金澤 和夫 氏

#### 3 月例会

○第486回月例会  
日時：9月10日（木）  
12:00～14:00  
場所：西村屋和味旬彩  
演題：「関西モダンイズム建築  
近代神戸の小学校建築史」  
講師：京都華頂大学教授 川嶋 智生 氏

### ○第487回月例会

日時：令和2年10月8日（木）  
12:00～14:00  
場所：東急REIホテル  
演題：「日々の暮らしにクラシックを」  
講師：チェロ奏者、大阪音楽大学講師  
植木 美帆 氏

なお、これら行事につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大防止に鑑みて、中止、延期等が想定されます。変更等のお知らせは郵便、メール等でご案内しますのでご了承ください。

### ◎第22回「人間サイズのまちづくり賞」の募集

兵庫県では、優れたまちなみ、建築物、まちづくり活動に功績のあった団体等の受賞候補者を募集中です。（直接県へ7月10日までに申し込みしてください）

### ◎花だより

先日、久しぶりに加西市の兵庫県フラワーセンターへ行ってまいりました。

生憎の小雨交じりの天気ではありましたが、緑あふれる園内を散策して、ひと時ののどかな気持ちを楽しみました。

園内はちょうど植え替えの時期でしたが、温室内で見つけたベゴニア・フローレンスとランの一種であるコリンアンテスの可憐な美しさにみとれてしまい、皆さんにご紹介することといたしました。

### ◎ 事務局だより

令和2年度定時総会におきましては、議案等審議にご理解とご協力をいただき、ありがとうございました。会長の交代などございましたが、新しい体制で今年度事業活動を積極的に進めてまいります。

会員の皆様の積極的なご参加をよろしくお願いたします。

入梅となりましたが、コロナウイルスだけでなく、体調を崩しやすい季節ですので、会員の皆様も体調管理に気を付けられ、ご自愛ください。

新型コロナウイルス感染症に係る「兵庫県緊急用トップページ」のリンクですので、ご活用ください。

<http://web.pref.hyogo.jp/index.html>

事務局	：	吉本義幸、石井滝実子
電話	：	078-996-2851
FAX	：	078-996-2852
Email	：	<a href="mailto:archit-k@axel.ocn.ne.jp">archit-k@axel.ocn.ne.jp</a>

安心をカタチに

# 兵庫県住宅再建共済制度 フェニックス共済



自然災害から守りたい「住まい」と「暮らし」



今後、もしも！！

南海トラフ地震が発生したら

- ▶ 30年以内の発生確率 最大 80%!
- ▶ 県内の被害想定 全半壊 21.5万棟!

活断層地震が発生したら

- ▶ 油断できない「山崎断層帯」「上町断層帯」など

大型台風が直撃したら

豪雨による災害が発生したら

自然災害で被災した  
住まいの再建に備えて **兵庫県が実施する共助のしくみ!**

県内に住宅(戸建て・マンションなど)をお持ちの方に

### 住宅再建共済

年額5,000円で  
再建、補修時等に  
最大**600万円**給付!

※半壊(損害割合 20%)以上

### 一部損壊特約

年額500円で  
補修時等に  
**25万円**給付!

※損害割合10%以上20%未満

県内の住宅(借家含む)にお住まいの方に

### 家財再建共済

単独加入 年額1,500円で  
住宅とセット加入の場合 年額1,000円で  
購入・修復時に 最大**50万円**給付!

※床上浸水・半壊以上

※住宅の被害認定(損害割合)は、住宅の所在する市町が発行する「リ災証明書」によります。

- 地震・津波・豪雨・台風・地すべり・竜巻など、あらゆる自然災害による被害が対象です。
- 住宅の築年数や規模、構造等と関係なく、定額負担で定額給付です。
- 地震保険や他の共済に加入していても加入でき、給付が受けられます。

### お問い合わせ

公益財団法人 兵庫県住宅再建共済基金

コールセンター **078-362-9400** (平日9:00~17:00)  
FAX: 078-362-4082

E-mail [jutakukyosaikikln@pref.hyogo.lg.jp](mailto:jutakukyosaikikln@pref.hyogo.lg.jp)

フェニックス共済 検索 加入申込書はダウンロードできます



「加入申込書付きパンフレット」は、県庁・県民局・県民センター・市役所・町役場・郵便局(簡易郵便局除く)にあります。

クレジットカードでのお支払いの方は、インターネットからのご加入が便利です!

『兵庫県住宅再建共済制度』の詳細は次からご覧いただけます。  
兵庫県住宅再建共済基金HP → <http://phoenix.jutakusaiken.jp/>